

コロンビア経済情勢（１０月分）

１ 概要

【ポイント】

- IMF と世界銀行は本年のコロンビアの経済成長率を 2.8%と予測。
- 国家企画庁は 2018 年－2022 年期の国家開発計画の骨子を発表。
- レストレポ商工観光大臣は 11 月にコロンビアの OECD 加盟に関する正式手続を行う方針を示した。

２ 本文

主な出来事

＜国内情勢＞

（１）経済見通し（９日、当地紙報道）

国際通貨基金（IMF）と世界銀行は、本年のコロンビアの経済成長率が 2.8%に推移すると予測した。また、2019 年の経済成長率を 3.6%と予測した。他方、格付会社 S&P グローバル・レーティングは本年の経済成長率を 2.4%、2019 年の経済成長率を 2.5%と予測した。同社は、資金調達法（Ley de Financiacion）（事実上の税制改革）の影響の見通しは不透明であるものの、原油価格の回復基調を考慮し、次回の報告における経済成長率予測は上昇しうる旨付言した。

（２）政策金利（27 日、当地紙報道）

26 日、コロンビア中央銀行は役員会議を行い、政策金利を 4.25%に維持することを決定した。同決定は、9 月のインフレ率が 3.23%に推移したこと、インフレ予想率が 3%を上回ったこと及び低調な経済指標が考慮された。

（３）2019 年の国家予算限度額の承認（20 日、当地紙報道）

18 日、2019 年の国家予算限度額が国会で承認された。国家予算限度額の総額は、258.9 兆ペソ（約 893 億ドル）となり、前年比 9.7%増となった。予算の主な割当ては 61%が財政運営、20%が債務返済、19%が投資となっている。

（４）国家開発計画の骨子（10 日、当地紙報道）

国家企画庁は、2018 年－2022 年期の国家開発計画の骨子を発表した。同計画は、持続可能な開発目標（SDGs）及び OECD で掲げた公約の履行が網羅されている。また、貧困削減を同計画の柱に掲げており、最貧困状態にある 360 万人のコロンビア人に対する支援を企図している。

（５）資金調達法（税制改革）（30 日，当地紙報道）

30 日，ロメロ国税・関税庁（DIAN）長官は，資金調達法（税制改革）の骨子を発表した。同法案の主な狙いは，2019 年度の国家予算の不足分（19.4 兆ペソ）の補填である。脱税の厳罰化，付加価値税及び法人税の段階的な引下げが謳われている。さらに，ドゥケ大統領が推進している「オレンジ経済」に包摂される産業は今後 5 年間に於いて法人税が免除される。

（６）車両販売増（2 日，当地紙報道）

コロンビア工業連盟（ANDI）及び全国商業者連合会（FENALCO）によると，9 月の車両販売台数は 2 万 1,370 台となり，前年同期比 10.8%増となった。また，コロンビア自動車協会（ANDEMOS）の統計によると，2018 年 1 月から 9 月の電気自動車の販売台数は 416 台となり，前年同期比 185%増となった。電気自動車には税制面での優遇措置がとられている。

<対外経済関係>

（１）対 OECD 関連（7 日，当地紙報道）

レストレポ商工観光大臣は，11 月にコロンビアの OECD 加盟に関する正式手続を行う方針を示した。コロンビアの OECD 加盟は本年 5 月に承認がなされたものの，正式加盟手続には国会での批准プロセスを要する。

（２）対エクアドル関連（8 日，当地紙報道）

コロンビア政府は，アンデス共同体諸国，とりわけエクアドルに対して農産品のマーケットアクセスを要請している。バレンシア農業・地方開発大臣は，コメ，砂糖及びパーム油に不正な競争力が働いていると説明した。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

8月の実質工業生産指数(加工コーヒー豆を除く)は前年同月比3.9%であった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

8月の実質小売売上高指数は前年同月比5.5%であった。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

8月の消費者信頼感指数 (ICC) は、4.7%と前月 (9.8%) を5.1ポイント下回り、前年同月▲15.9%を20.6ポイント上回った。

(2) 産業動向

(ア) 石油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

9月の石油生産量は日量87万バレルであり、前年同月比1.9%となった。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による9月のコーヒー生産量は105万袋(1袋=60kg)となり、前年同月比▲14.5%となった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

9月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=1.27ドル(前月は同1.31ドル、前年同月は1.51ドル)であった。

(ウ) エネルギー需要

9月のコロンビアのエネルギー需要は5,813GWh、前年同月比4%であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

9月の消費者物価上昇率は0.16%、生産者物価上昇率は2.4%であった。

(イ) 雇用

9月の全国平均失業率は9.5%と、前年9.2%より0.3ポイント悪化した。また、主要13都市の平均失業率は10.5%と、前年同月の10.5%と同率であった。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

8月の貿易収支 (FOB) は、7.65億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比13.1%の36.11億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比9.3%の45.81億ドルとなった。

3 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：％，出所：DANE)	2017/8	2018/6	2018/7	2018/8
(ア) 実質工業生産指数（前年同月比）	-3.1	1.3	3.5	3.9
(イ) 実質工業売上高指数（同）	-3	-0.3	2.8	4.6
(ウ) 実質小売売上高指数（同）	-1.2	6.3	3.2	5.5
(エ) 新規建設着工承認面積（単位：万㎡）	208.0	168.9	195.8	183.6
(2) 失業率 (単位：％，出所：DANE)	17/9	18/7	18/8	18/9
(ア) 全国平均	9.2	9.7	9.2	9.5
(イ) 主要13都市平均	10.5	10.1	10.1	10.5
(3) 消費者物価上昇率 (単位：％，出所：DANE)	17/9	18/7	18/8	18/9
(ア) 前月比	0.04	-0.13	0.12	0.16
(イ) 前年同月比	3.5	3.1	3.1	3.2
(4) 政策金利 (単位：％，出所：中央銀行)	17/9	18/7	18/8	18/9
	5.25	4.25	4.25	4.25
(5) 為替（対ドル為替レート） (単位：ペソ，出所：中央銀行)	17/9	18/7	18/8	18/9
(ア) 月初	2,948.09	2,930.80	2,886.80	3,053.14
(イ) 月末	2,936.67	2,875.72	3,027.39	2,972.18
(ウ) 最高値	2,948.09	2,930.80	3,046.76	3,100.37
(エ) 最安値	2,893.18	2,861.70	2,886.80	2,972.18
(6) 株式指数COLCAP (単位：ポイント，出所：COLCAP)	17/9	18/7	18/8	18/9
(ア) 月初	1,494.17	1,561.27	1,540.41	1,536.16
(イ) 月末	1,487.52	1,526.20	1,542.77	1,506.07
(ウ) 最高値	1,507.42	1,570.90	1,548.27	1,536.16
(エ) 最安値	1,481.21	1,536.13	1,520.03	1,471.81
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	17/8	18/6	18/7	18/8
(ア) 輸出額（FOB）	3,071.5	3,330.4	3,604.2	3,611.2
(イ) 同 年内累計	23,610.9	20,489.1	24,093.3	27,704.5
(ウ) 輸入額（CIF）	4,191.1	4,228.4	4,347.4	4,580.7
(エ) 同 年内累計	30,781.1	24,432.7	28,780.1	33,360.8
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	17/9	18/6	18/7	18/8
	446.5	494.0	528.7	576.3
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	17/9	18/7	18/8	18/9
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,750	8,518	9,303	9,339
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	17/9	18/7	18/8	18/9
(ア) 単月	19,320	19,358	21,444	21,430
(イ) 年内累計	171,971	132,849	154,293	175,723